

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市海外向け展示商談会等出展補助金	開始 年 度	平成28年度
団 体 名	市内に事務所等を有する中小企業者等	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市海外向け展示商談会等出展補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	本市企業の輸出振興を図るため、市内の中小企業者等が道外で開催される展示商談会等へ海外販路拡大を目的として出展する際の経費を支援する。
目 的	(目 的) 市内中小企業者等の海外への販路拡大を促し、もって経営基盤の強化を通じ、地域経済の活性化を図る。
・ 効 果	(効 果) 海外へ販路を拡大することにより、中小企業等における経営基盤のさらなる強化が図られ、地域経済の振興発展が促進される。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	R元	569 [569]					653 [653]	1,222 [1,222]
	R2	0 []					0 []	0 []
	R3	0 []					0 []	0 []
	R4	93 [93]					93 [93]	186 [186]
	R5	0 []					0 []	0 []
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R元			1,222 [1,138]				1,222 [1,138]
	R2			0 []				0 []
	R3			0 []				0 []
	R4			186 [186]				186 [186]
	R5			0 []				0 []

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市海外向け展示商談会等出展補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	国や道が輸出振興を積極的に図っている状況にあり、市内企業の海外展示商談会等への出展に対する支援には明確な公益性がある。 輸出振興は、地域企業の経営基盤を強化し、市内経済の活性化が図られることから、市民生活の向上に貢献する。 なお、コロナ禍での活用は限定的であったが、令和6年度は、8月現時点で5社が本補助金を活用しておりニーズがある。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☐	☐	市内中小企業者等にとって、展示商談会等への出展に係るコストは大きく、支援のニーズ・必要性は高い。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☐	☐	販路拡大を通じ、経営基盤が強化されることで、自主自立を促す。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☐	☐	市内企業が望む展示商談会等への出展を支援できるため、市が参加した事業に出展スペースを確保するよりも効果は高い。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市海外向け展示商談会等出展補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

函館市海外向け展示商談会等出展補助金

(達成状況)

令和3年度 出展企業 無し (コロナ禍による)

令和4年度 出展企業 1社 商談件数不明

令和5年度 出展企業 無し (コロナ禍による)

※令和3および5年度については新型コロナウイルスの影響により先が見通せず、出展計画を立てることが難しいという企業が多かったため、活用件数0件であった。



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている 一定の効果をあげている 効果が疑問である その他	R4年度は申請1件(R3年度は申請なし)、R5年度は0件となっているが、コロナ禍による企業体力の低下や展示商談会の中止による一時的なものと考えられ、海外との往来が再開したR6年度以降はR6.8時点で5件の申請を受けている。

○今後の方向性

□ 現行のまま補助を継続 □ 見直したうえで補助を継続 □ 廃止 □ その他	(見直しの内容) 海外との往来が再開した現在、海外販路開拓を積極的に計画する事業者が増えている中で、事業者からの要望が強い補助事業であるほか、昨今では国内で、多くの海外向け展示商談会等が開催されている現状をふまえ、R6年度からは国内(道外)で開催される海外向け展示商談会等への出展も補助対象事業とするなど、事業者のニーズに沿った見直しを図った。 (見直しの時期)
--	--



(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	□ 終期到来により廃止 □ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 8 年度		令和 8 年度